AudioComm®

保証書付 取扱説明書

DSP FMステレオ/AMポケットラジオ

型番：RAD-P360N-W　品番：03-8751
RAD-P360N-H　03-8752
RAD-P360N-R　03-8753

このたびは、AudioComm®DSP FMステレオ/AMポケットラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

各部の名称

①FMロッドアンテナ
②電源／スリープボタン
③イヤホン端子
④ディスプレイ
⑤プリセットボタン(－／＋)
⑥スピーカー
⑦バンド切換ボタン
⑧選局／メモリーボタン
⑨音量ボタン(▲／▼)
⑩ホールドボタン
⑪ストラップ穴
⑫電池ぶた

乾電池の入れかた

1. 電池ぶたの▽部を押しながら下にスライドさせて、電池ぶたを開けます。
2. 単4形乾電池×2本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら正しく入れます。
   コイルバネのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。
   また、リボンの上から入れると、次の乾電池交換時に便利です。
3. 電池ぶたを元どおりにしっかりと閉めます。

- ●乾電池を入れると、ディスプレイに時刻が表示されます(バックライトもしばらく点灯します)。正しい時刻を設定してください。
- ●長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。
- ●設定していた時計、アラーム、放送局メモリーがリセットされていたら、再度設定し直してください。

時刻設定のしかた

電源が切れた状態で操作してください。

1. 電源が切れている状態(ラジオを受信していない状態)で、選局／メモリーボタンを長押しします。
2. 選局／メモリーボタンを上または下に動かして24Hr(24時間表示)または12Hr(12時間表示)を選び、同ボタンを押し込んで決定します。

3. 選局／メモリーボタンを上または下に動かして「時」を選び、同ボタンを押し込んで決定します。
   ●12時間表示を選んだ場合、「am」「pm」が表示されます。

4. 選局／メモリーボタンを上または下に動かして「分」を選び、同ボタンを押し込んで決定します。
   ●点滅が止まり、設定が確定します。

- ●何も操作しない時間が約5秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。
- ●アラーム設定が有効なとき(ディスプレイにアラームマークが表示されているとき)は、時刻設定ができません。バンド切換ボタンを押し、アラームマークを消してから操作してください。

ホールド機能について

ホールドボタンを長押しすると、ホールド機能が有効になり、かばんの中に入れたときなどの誤動作を防ぐことができます。
- ●ホールド機能が有効なときは、ディスプレイにホールドマーク(🔒)が点滅します。
- ●解除するには、ホールドマークが消えるまで、もう一度ホールドボタンを長押ししてください。

ホールド機能は電源のオン／オフに関係なく設定できます。

バックライトについて

乾電池が正しく入っているときは、電源のオン／オフに関係なくいずれかのボタンを押すと、ディスプレイのバックライトが約5秒間点灯します。

ストラップの取り付けかた

ストラップの細いほうの紐をストラップ穴に通します。その後、細い紐の輪の中に、太い紐を通して締め付けてください。

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

⚠警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機から乾電池を取り外す
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
  - ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- ●万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
  - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
  - ・販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- ●本機を分解、修理、改造しない
  - ・火災・感電の原因となります。
- ●屋外で使用中に雷が鳴り始めたら、すぐに使用を中止する
  - ・落雷や感電の原因となります。
- ●浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
  - ・感電や故障の原因となります。
- ●車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
  - ・交通事故の原因になります。
  - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- ●乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
  - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

⚠注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- ●乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる
  - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ●指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)を一緒に使わない
  - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
  - ・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- ●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
  - ・故障の原因となることがあります。
- ●湿気やほこりの多い場所に置かない
  - ・火災・感電の原因となることがあります
- ●はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない
  - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- ●落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
  - ・故障や破損の原因になることがあります。
- ●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
  - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- ●長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
  - ・火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない
⚠注意	・⊕⊖の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使用する ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- ●万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- ●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- ●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	DSP FMステレオ/AMポケットラジオ			★お買い上げ日：　年　月　日
型　番	RAD-P360N-W/H/R	品　番	03-8751/8752/8753	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前(ふりがな)　様			
	★ご住所　〒　－ 電話　(　　)			

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話 印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp
製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付　平日9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

ラジオを聴く

❶ **電源／スリープボタンを押して電源を入れた後、バンド切換ボタンを押して、お聴きになりたいバンド(AMまたはFM)を選びます。**

AM放送の表示例

FM放送の表示例

❷ **選局／メモリーボタン(▲／▼)を上下に動かしてお聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。**

●選局ボタン(▲／▼)をしばらく上または下に動かしたまま、指を離すと、自動で周波数が送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

●AM放送では9kHz単位で、FM放送では0.1MHz単位で周波数が変わります。

AM放送の表示例

FM放送の表示例

❸ **音量ボタン(▲／▼)を押して音量を調節します。**

●音量の上げすぎにご注意ください。

音量は約5秒間表示されます。

❹ **終了するときは電源／スリープボタンを押します。**

●時刻表示に戻り、しばらくするとバックライトが消灯します。

受信状態を良くするには

●AM放送の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。

●FM放送の受信

FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

※持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

イヤホンで聴くときは

ステレオイヤホン(付属)のφ3.5mmステレオミニプラグを、本機のイヤホン端子に差し込んでください。

●本機のイヤホン端子はステレオ対応ですので、FMステレオ放送の場合はステレオ音声を楽しめます。イヤホンを接続した状態でFMステレオ放送を受信すると、FMステレオマーク( )が表示されます。

●FMステレオ受信時に雑音が多いときは、モノラル受信にすると軽減されることがあります。ホールドボタンを押すことで、ステレオ⇆モノラルを切り換えることができます。

●イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。

FMステレオマーク

ワイドFM（FM補完放送）について

ワイドFM（FM補完放送）とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池は正しく装着されていますか。⊕⊖の向きは正しいですか。 ●乾電池が消耗していませんか。
音が出ない／音が小さい	●音量が最小になっていませんか。 ●電源は入っていますか。 ●正しく選局されていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。
雑音が多い／音が悪い	●乾電池が消耗していませんか。 ●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。
オートスキャンで放送局が登録されない	●電波状況は良好ですか。良くない時間帯や場所で行なうと、意図したとおりに登録されないことがあります。できるだけ電波状況が良い状態で再度お試しください。
アラームが鳴らない	●時刻を正しく設定しましたか(現在時刻及びアラーム起動時刻)。

主な仕様

電源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売)				
受信周波数	AM 522 ー 1620kHz　FM 76 ー 108MHz				
乾電池持続時間※1	スピーカー使用時	AM受信	約37時間	FM受信	約37時間
	イヤホン使用時	AM受信	約53時間	FM受信	約50時間
接続端子	イヤホン端子(φ3.5mmステレオミニジャック)				
時計精度	月差約30秒				
外形寸法	幅56×高さ97×奥行15.5mm(突起物含まず)				
質量	約62g(乾電池含まず)				
付属品	ステレオイヤホン、ストラップ、保証書付取扱説明書				

※1 アルカリ乾電池新品使用時。JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

※外観、仕様は予告なく変更することがあります。

※本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

必ず電源が切れた状態で行なってください。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

オートスキャン(ATS)

◆選局/メモリー

ラジオを受信しているときに選局／メモリーボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順にプリセット登録していきます。

●AM放送・FM放送それぞれ最大20局まで登録できます。ただし、手動プリセット登録ですでに任意の放送局が登録されている場合、オートスキャンを行なうと放送局が上書きされることがありますのでご注意ください。

プリセット番号

オートスキャン中は左図のような表示になり、「SCAN」が点滅します。放送局が登録されると、右上のプリセット番号が増えていきます。

ープリセット＋　登録された放送局を受信するには

プリセットボタン(ー／＋)を押してお聴きになりたいプリセット番号を選んでください。
プリセット番号と「PRESET」は約3秒間表示され、その後は通常の周波数表示になります。

手動プリセット登録

よくお聴きになる放送局を任意のプリセット番号に登録し、簡単に呼び出すことができます。

●AM放送・FM放送それぞれ最大20局まで登録できます。ただし、オートスキャンですでにプリセット登録されている場合、手動プリセットで登録すると放送局が上書きされることがありますのでご注意ください。

❶ **登録したい放送局を受信している状態で、選局／メモリーボタンを押します。**

●「PRESET」とプリセット番号が点滅しますので、点滅している間に❷の操作をしてください。

プリセット番号

❷ **プリセットボタン(ー／＋)を押して、登録したいプリセット番号を選びます。その後、選局／メモリーボタンを押すと登録が確定します。**

プリセット番号

ープリセット＋　登録された放送局を受信するには

プリセットボタン(ー／＋)を押してお聴きになりたいプリセット番号を選んでください。
プリセット番号と「PRESET」は約3秒間表示され、その後は通常の周波数表示になります。

スリープタイマー

電源が入っているときに電源／スリープボタンを長押しすると、自動で電源が切れるまでの時間を設定できます。

電源/スリープ

電源／スリープボタンを長押しすると、最初にスリープマーク( )と「120」が表示されます。
さらに電源／スリープボタンを押すと、押すたびに「90」、「60」、「45」、「30」、「15」、「10」と電源が切れるまでの時間(分)が変化しますので、設定したい時間が表示されたら、そのまましばらく待ちます。

●しばらくすると設定が確定して、周波数表示に戻ります。スリープ設定が有効なときはスリープマークが表示されます。

●スリープ設定が有効なときに電源／スリープボタンを長押しすると、電源が切れるまでの残り時間を約5秒間表示します。

●スリープ設定を解除するには、電源／スリープボタンを短く押して電源を切るか、電源／スリープボタンを長押しした後、さらに周波数表示になるまで同ボタンを数回押してください。スリープ設定が解除されるとスリープマークが消えます。

スリープマーク

アラーム

電源が切れた状態で操作してください。

本機は、電子音によるアラームを設定できます(アラーム音の音量は一定です)。

❶ **電源が切れている状態で、バンド切換ボタンを押します。**

●アラームマーク( )と設定時刻が表示されます。設定時刻は約5秒後に現在の時刻表示に戻ります。

アラームマーク

❷ **選局／メモリーボタンを長押しします。**

❸ **選局／メモリーボタンを上または下に動かしてアラームを起動させたい「時」を選び、同ボタンを押し込んで決定します。**

❹ **選局／メモリーボタンを上または下に動かしてアラームを起動させたい「分」を選び、同ボタンを押し込んで決定します。**

アラーム設定時のご注意

●何も操作しない時間が約5秒間続くと、それまでの操作で起動時刻などが確定し、アラーム設定が終了します。設定途中で終了した場合でもアラームマークが表示されているときは、起動時刻になるとアラームが起動します。必要に応じて最初からやり直してください。

●アラームマークが表示されているときに選局／メモリーボタンを長押しすると、設定をやり直すことができます。

●アラームを解除するには、バンド切換ボタンを押してアラームマークを消してください。

●アラームマークが表示されているときは、現在時刻の設定はできません。バンド切換ボタンを押していったんアラームを解除してから操作してください。

アラームが鳴ったら

●アラームを止めるには、任意のボタンを押してください。
ただしこのままですと、翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。アラームが鳴らないようにするには、バンド切換ボタンを押してアラームマークを消してください。

●スヌーズ機能について

・アラームが鳴っているときに選局／メモリーボタンを上または下に動かすと、一時的にアラーム音が停止します。一時停止中は「SNOOZE」が点滅し、そのままにすると約7分後に再度アラームが鳴ります。スヌーズ中にスヌーズ自体を解除したいときは、任意のボタンを押してください(この場合でも、アラームマークが表示されているときは、翌日の同じ時刻になるとアラームが起動しますのでご注意ください)。